

PressRelease

報道関係者各位

2011年2月2日



合同会社シーブジェイピー



共同購入クーポンサイト市場動向 (2011年1月)

【1月の販売総額は減少】

共同購入クーポンの検索サービス「クーポンジェイピー」(<http://coupon-jp.com/>)が、共同購入クーポンサイト147サイトを独自に収集・集計したデータによると、2010年12月の共同購入クーポン販売総額は22億1,670万円、これに対して2011年1月は18億7,031万円と、前月に比べ16%販売総額が減少した。

<表1> 共同購入クーポンサイト 2011年1月販売実績

1月順位	12月順位	クーポンサイト	1月販売総額	前月比	12月販売総額
1位 ー	1位	GROUPON	983,853,660	86%	1,141,470,388
2位 ー	2位	ポンパレ	476,641,580	82%	584,109,032
3位 ー	3位	一休マーケット	68,955,150	99%	69,464,530
4位 ↑	7位	トクー！ポン	54,405,210	159%	34,174,155
5位 ↑	9位	シェアリー	49,550,198	179%	27,645,004
6位 ↑	8位	TOKUPO	33,024,100	118%	28,011,435
7位 ↓	4位	piku	26,307,735	52%	50,460,445
8位 ↓	5位	pita TICKET	20,889,079	55%	37,875,723
9位 ↓	6位	KAUPON	20,439,361	55%	37,301,668
10位 ↑	11位	PREPON	16,875,120	86%	19,544,739
11位 ↓	10位	品品プレミアムモール	16,349,605	67%	24,489,562
12位 ↑	14位	LUXA	12,487,665	89%	14,053,175
13位 ー	13位	CooPa	7,871,473	54%	14,573,454
14位 ↑	17位	Do★Pon!	7,711,620	66%	11,645,600
15位 ↓	12位	ベネ！PON	6,718,450	36%	18,678,610
16位 ー	16位	PONiTS	5,911,595	48%	12,278,410
17位 ↓	15位	QPON	5,548,580	40%	13,805,418
18位 ↑	32位	ぐるなび×piku	4,235,560	273%	1,553,230
19位 ー	19位	Group MALL	4,004,430	57%	6,966,140
20位 ー	20位	食べログチケット	3,994,660	71%	5,660,380
全147サイト販売総額			1,870,310,704	84%	2,216,706,644

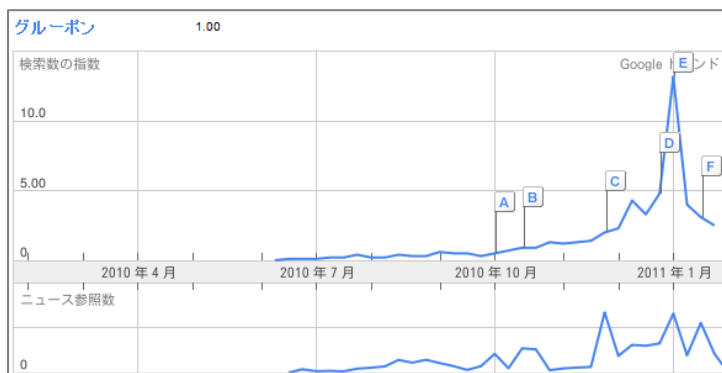
単位：円

※集計データについての注意事項

本プレスリリース掲載のデータは、クーポンジェイピーが各クーポンサイトに掲載された情報を独自に収集し、集計を行った推定実績です。対象期間中に共同購入が成立し、かつ販売終了時刻を迎えたものを集計しています。各クーポンサイトの公式発表データではありませんのでご注意ください。

なお、データの不備・指摘については、本プレスリリースの最後に掲載している問い合わせ先にご連絡ください。

主要都市から人が流出する正月休みという季節的要因の他に、GROUPONの“バードカフェおせち問題”という不祥事があった。事件を通じて共同購入クーポンの名はこれまでになく広く浸透したが、同時に販売手法そのものへの警戒感・不信感を強く植え付ける結果となった。



<表 2> Googleトレンド「グルーボン」キーワードのトラフィック推移

【二強の優位揺るがず】

販売総額順位で見ると GROUPON の首位は揺るがず、2 位ポンパレが追う形は変わらない。

月単位で見ると両社とも GROUPON 14%減、ポンパレ 18%減と売上を落としているが、おせち問題が繰り返しメディアで取り上げられたが、影響は限定的であったと思われる。

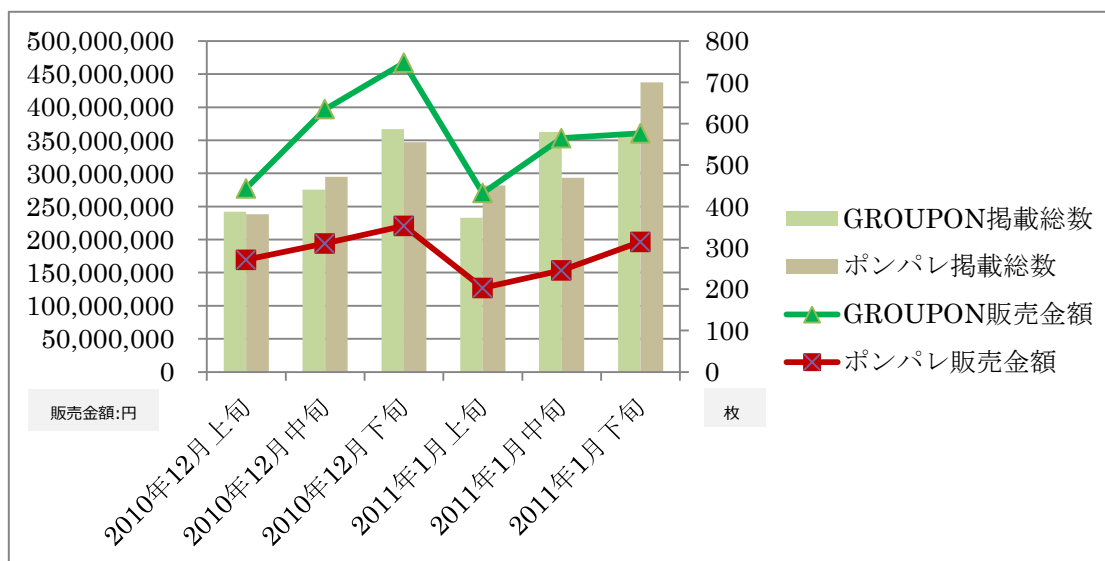
一方、中小のクーポンサイトは軒並み苦戦しており、前月比販売金額が半減という所も少なくない。寡占化がますます進む上、問題報道によるイメージダウンが避けられず、クーポン出稿店舗・新規会員の獲得が共に困難になったと推測される。販売総額の順位で見ると、おせち問題の影響は中小クーポンサイトに大幅な変動として現れた形となった。

【バードカフェおせち問題の影響】

GROUPON とポンパレのクーポン掲載数、販売金額の推移を上・中・下旬と分けて見てみると、1 月上旬にかけては両社ともクーポン掲載数を減らし、販売金額も落ち込んでいる。

しかし、1 月中旬以降 GROUPON は直近で最も勢いのあった 12 月下旬並に掲載数を戻しているにも関わらず、販売金額の伸びにはやや陰りが見える。これまで右肩上がりに売上を伸ばしてきた GROUPON には見られなかった現象である。掲載数の拡大に伴い販売金額を戻しつつあるポンパレと比較すると、季節要因だけでは言い切れない。

<表 3-1> GROUPON、ポンパレ販売推移グラフ (2010 年 12 月～2011 年 1 月)



<表 3-2> GROUPON、ボンパレ販売推移データ (2010 年 12 月～2011 年 1 月)

	GROUPON			ボンパレ		
	掲載総数	販売成立枚数	販売金額	掲載総数	販売成立枚数	販売金額
2010年12月上旬	387	133,241	277,339,596	381	78,297	169,356,937
2010年12月中旬	441	169,654	396,960,428	472	66,208	194,148,683
2010年12月下旬	587	205,190	467,170,364	555	85,872	220,603,412
2011年1月上旬	373	122,154	270,213,017	451	52,218	126,756,538
2011年1月中旬	580	186,869	353,117,006	469	43,920	153,386,014
2011年1月下旬	576	178,393	360,523,637	700	80,102	196,499,028

※掲載総数は、各クーポンサイトに掲載されたクーポンの総数で、成立・不成立の両方を含みます。

※販売成立枚数は共同購入が成立して販売したクーポンの枚数、販売金額はその販売合計額です。

【グルメ・トラベル系クーポンの人気】

一方、シェアリー、トクー！ポン、TOKUPO など売上を伸ばしているサイトもある。

カテゴリ別に見てみると、一休マーケット、トクー！ポンともに堅調で、トラベル系クーポンの安定した人気が見える。

1 月に入ってから、おせち問題の影響か、全般的にグルメ系クーポンの掲載数が減少したが、依然としてグルメは人気の高いカテゴリである。シェアリーは逆にグルメ系クーポン掲載数を増やすことによって(135 件から 220 件に増加)、販売金額前月比 179%と大幅に売上を伸ばした。piku は、全体の販売金額が伸び悩む中、グルメ系に特化した「ぐるなび×piku」が販売金額前月比 273%の伸びを見せている。他にも、TOKUPO(販売金額前月比 118%)はクーポン掲載数を増やし躍進した。

こうした人気カテゴリのクーポンを数多く、かつ安定的に提供できるかが売上増加の鍵であり、営業力と地盤の強さが重要となってくる。

<表 4> クーポンカテゴリ別掲載数 (2010 年 12 月～2011 年 1 月)

	2011 年 1 月					2010 年 12 月				
	掲載総数	グルメ	通販	トラベル	その他	掲載総数	グルメ	通販	トラベル	その他
GROUPON	1529	607	38	48	836	1415	603	52	42	718
ボンパレ	1620	519	79	344	678	1408	640	63	147	558
一休マーケット	56	17	0	36	3	70	30	0	36	4
トクー！ポン	13	3	0	10	0	16	2	0	10	4
シェアリー	313	220	25	0	68	228	135	14	0	79
TOKUPO	178	62	7	0	109	148	53	5	0	90
piku	108	34	18	21	35	136	43	27	3	63
ぐるなび×piku	11	10	0	0	1	6	6	0	0	0

※掲載総数は、各クーポンサイトに掲載されたクーポンの総数で、成立・不成立の両方を含みます。

※COUPON-JP(クーポンジェイピー)掲載時のカテゴリ分けによる集計です。

※“その他”には、美容・健康、スポーツ、エンターテインメントなどを含みます。

【共同購入クーポンの今後】

共同購入クーポン業界全体への不信感を払拭するため、クーポンサイトも様々な取り組みを発表している。

まず、Coopa(クーパ)が先陣を切って1月7日に掲載方針を発表。11日には、piku が割引率の根拠などかなり踏み込んだ掲載基準「pikuルール」を発表。その後、13日にLUXA、25日にポンパレ「ポンパレポリシー」と相次いで掲載基準を公開し、GROUPON も出品審査を外部に委託する方針を固めた。また、業界団体設立の動きもある。

Coopa	http://www2.pado.co.jp/cms/pado/news2/index.php?itemid=163&catid=19
piku	http://www.piku.jp/p/news-20110111
LUXA	http://luxa.jp/lx/policy/
ポンパレ	http://ponpare.jp/doc/ponparepolicy.html

共同購入クーポン検索サービスの「COUPON-JP(クーポンジェイピー)」は、1月21日からCOUPONBUZZ(クーポンバズ)という機能を公開し、ユーザーがクーポンについて評価・情報交換できる場を提供している。ユーザー同士がクーポンを軸に繋がることでソーシャルメディアとして意味を深め、クーポンの客観的な評価軸を作る試みとしている。

【COUPON-JP(クーポンジェイピー)について】

クーポンジェイピー(<http://coupon-jp.com/>)は、クーポン共同購入サイト147サイトのクーポンを横断検索できるサービスです。エリア、カテゴリなどの条件指定で多様な検索が可能で、マップ検索や過去クーポン検索、食ベログ評価やバズ機能といった口コミ評価を重視した作りになっています。また、Twitterとも連動し、人気が発見し即完売するような最新のクーポン情報もいち早く入手できる、速報性の高いクーポン情報サイトです。

【クーポンフォーユーについて】

クーポンフォーユー(<http://cp4u.jp/>)は、COUPON-JPで定評のあるクーポンデータベースをもとに、簡単な条件設定を登録するだけで、好みにあったクーポンをおすすめしてくれるクーポンのコンシェルジュサービスです。毎日最新のクーポン情報をメールで受け取ることができ、忙しい方や簡単にクーポン情報を得たい方向けのクーポン情報サイトです。

この他、共同購入クーポンデータベースAPIの提供や、クチコミサイトCOUPONBUZZ(クーポンバズ)など、共同購入クーポン業界の活性化につながる様々な取り組みを行っています。

【合同会社シーブジェイピー会社概要】

会社名 : 合同会社シーブジェイピー (<http://sheep.co.jp/>)

代表者 : 代表社員 渡辺 真生子

所在地 : 〒324-0004 栃木県大田原市富池 299-22

事業内容 : 「クーポンジェイピー」「クーポンフォーユー」の運営、Webシステム受託開発

【本プレスリリースについて】

メディア・報道関係者の方で、データ素材(Excel形式)をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

また、本プレスリリースの転載、引用は自由に行っていただけます。その際に、クレジット表記として「クーポンジェイピー」または「合同会社シーブジェイピー」、及びURLリンクを明記して頂けますようお願いいたします。

<本件のお問い合わせ先>

合同会社シーブジェイピー 担当: 渡辺 正樹
TEL : 0287-22-3070 E-mail : info@sheep.jp